



あらゆる賞賛は、世界、宇宙の主であられるアッラーのもの。アッラーは、しもべが主を心から思っている行為を受け入れられる。アッラーは、比べ得る何ものも存在しない唯一者であられる。私は、アッラーの外に崇拝する存在はないことを証言し、また、ムハマドは、アッラーのしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・雌牛章において述べておられる。

「…旅の準備をなさい。だが、最も優れた準備とは、篤い信仰の心である。お前たち、思慮ある者よ、われを畏れなさい。」 (2章 197節)

また、アッラーは、アラファートの日に下された啓示についてクルアーン・食卓章において述べておられる。

「…今日、われは、お前たちのために、お前たちの宗教を完成し、また、お前たちに対するわれの恩恵を全うし、お前たちのための教えとして、イスラームを選んだのである。…」 (5章 3節)

こうしてその日、即ち、アラファートの日に高貴で完全な宗教が完成されたことが伝えられた。その宗教は、イスラームであり、アッラーに思いを寄せるならばその者は、アッラーを畏れる者となり、アッラーは、その者を見放さないだろう。また、教え通りに信仰行為を行う者は、正しい行いに努め、禁じられたことを避ける者となるだろう。至高のアッラーは、クルアーン・蜘蛛章において述べておられる。

「…誠に、礼拝は、(人を)醜行と悪事から遠ざける。また、最も大事なことは、アッラーを唱念〔ズィクル〕することである。…」 (29章 45節)

アラファートの日は、預言者ムハマドSAWが巡礼に際し「別れも説教」を行い、多くの祈願をなされた、とても大切な日である。また、この日に行う断食齋戒についてのハディースがある。預言者さまSAWは、「アラファートの日(ズール・ヒジヤ月の九日)の断食では、アッラーに前年の罪と来る年の罪をお許し下さるようお願い、アーシューラーの日(ムハッラム月の10日)の断食では以前の罪のお許しを祈願する」と申された。さて、巡礼者たちは、沢山の信仰行為を行うこと、マッカにたどり着き石投げまでの間タルビーヤを繰り返し唱えること、クルアーンを読誦すること、祈願すること、特にアラファートで多くの祈願をすることは、奨励されていることである。預言者さまSAWは、述べておられる。「最良の祈願は、アラファートの日に行う祈願である。そして、その日に私を含む巡礼者が唱える最良の言葉は、『アッラーの外に崇拝するものは無く、アッラーは、共同者の無い大権者で、称賛される御方であり、全能の御方であられる。』である。」 なお、「タルビーヤ」の意味は、「おお、アッラー。私は、あなたさまの御前に参ります。おお、アッラー。比類なき御方。あなたさまの御前に参ります。称賛、恩恵、大権は、あなたさまのもの。比類なき御方。おお、アッラー。私は、あなたさま



の御前に参ります。」である。また、巡礼者たちは、自分の言葉に注意し、悪口や言い争いを慎むべきである。

信者たちよ。ムスリムたちは、アラファートの日のファジュル礼拝からズール・ヒッジャ月13日午後まで、タクビール、「アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーの外に崇拝するものは無い。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大にして称賛に値します。」を唱えるのである。また、巡礼者も、そうではないムスリムたちも、ズール・ヒッジャ月の最初の10日間には沢山の善行を積むがよい。預言者さま SAW が、「ズール・ヒッジャ月の最初の10日間の内に行う善行以上に、アッラーが好まれる善行は他には無い。」と述べられると、「アッラーの道の為のジハードよりもですか。」と問われた。預言者さま SAW は、「生命と財産を掛けて出掛け、それらを失った者のジハードを除けば、アッラーの道の為のジハードよりもです。」と答えられた。

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブー・バクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。巡礼の条件が整ったなら、速やかに正しい巡礼を行う者であるように御導き下さい。

アッラーよ。アラファートの日を大事に思い、多くの信仰行為を行う者であるように御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。預言者ムハムマド SAW に従い、イスラームの教えを守る者にして下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。イスラームとムスリムたちの為に奉仕出来るように力と御加護を御与え下さい。

アッラーよ。仕事に成功を、そして安心と安全を御与え下さい。 **アミーン**